

2023年度 多文化交流科目シンポジウム（講演＋ワークショップ）

共催：大学院教育推進機構高等教育研修センター

外国につながる子ども・家族を支える

地域日本語教室

～「ことば」の支援を越えて～

少子高齢化が加速的に進むなか、日本に住む「外国人」数は、コロナ禍において若干の減少傾向が見られたものの、概して増加傾向にあり、その存在は、いまや日本社会・経済の発展にとって欠かせない存在と言えます。北海道大学にも学生総数の12%近い2,000人を超える留学生が在籍していますが、その大半が大学院生であるため、家族を伴い来日する人も少なくありません。かつては、「一時滞在」と見なされていた「外国人」のなかには、就職や結婚を機に長期にわたり日本に住む人もいますし、日本で新たな家族を迎える人もいるでしょう。行政や地域による支援の輪も拡がりつつありますが、その支援の中心は「ことば」にあるように見受けられます。この講演・ワークショップでは、福岡で外国につながる子ども達の異文化理解および支援に長くかかわっていらっしゃる伊藤亜希子先生をお招きし、子どもや保護者に対する生活支援や学習支援、進路支援について、ご自身のご経験をもとにお話いただきます。「多様性」の尊重が謳われる日本社会において、「外国人」の置かれた状況やかれらの抱える課題から、「ことば」とその周辺にある問題を、参加者のみなさんと考えることができればと思います。みなさまのご参加をお待ちしております。

日時：2023年7月16日（日）10:00～12:00

◆ 講師：伊藤 亜希子 氏（福岡大学） ◆

場所：北海道大学学生交流ステーション 1階 111教室（対面実施）

*会場への地図は下記、国際教育研究部 HP でご確認ください。

参加申込先：下記よりお申し込みください。

https://ctl.high.hokudai.ac.jp/20230716_oia/

参加を希望される方は、人数把握のため、

7月13日（木）までにお申し込み下さい。



問い合わせ先：北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部

青木麻衣子 maoki [at] oia.hokudai.ac.jp

※メール送信の際はアドレスの [at] を@に置き換えてください。

国際教育研究部 HP：<https://isc.high.hokudai.ac.jp>

